

3年間で
8.9億円の財政効果

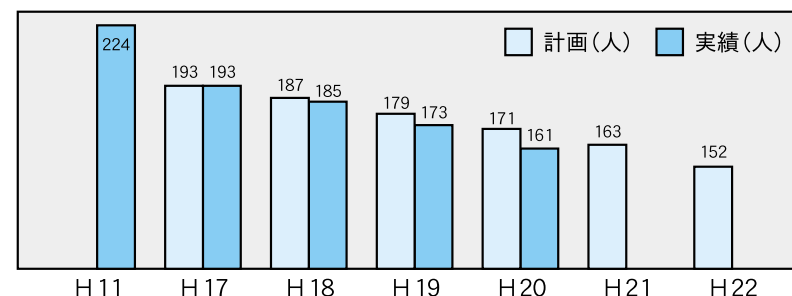
町は、第4次行政改革大綱と行政改革推進実施計画（実施計画93項目、計画期間平成17年度から平成21年度までの5年間）に基づいて行政改革を進めています。ここでは、平成17年度から平成19年度までに町が行った行政改革の取り組み状況をお知らせします。

職員数や債務など着実に削減

《職員数の削減》

数値目標 【H17.4】193人→【H22.4】152人（41人・21%）
実績 【H20.4】162人 削減数 32人（19.9%）

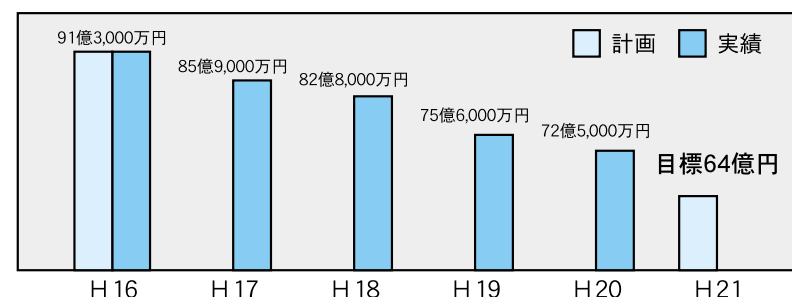
平成20年4月現在で計画を10人上回るペースの削減となっています。これにより4年間で約7億4,700万円の節減効果が見込まれます。機構改革による人員配置の見直し、59歳退職勧奨の実施や民間委託などに取り組み、職員数を抑制しています。



《債務の削減》

数値目標 【H17.3】91億3千万円
→【H22.3】64億円（27億3千万円・30%）

実績 【H20.3】75億6千万円 削減額 15億7千万円（17.2%）
地方債残高は、20年度までの4年間で約18億900万円削減できる見込みで、21年度までの削減目標額の69%まで進んでいます。



93項目を着実に推進

「行政改革推進実施計画」による93項目について着実な推進を図るため、全町あげて取り組んでいます。平成17年度から19年度までの3年間で約8億9,500万円の財政効果がありました。計画に対する達成率は107.1%で、その内訳は次のとおりです。

	H17	H18	H19	合計
計画額	1億6,000万円	2億9,100万円	3億8,500万円	8億3,600万円
歳入実績額	400万円	1,300万円	3,600万円	5,300万円
歳出実績額	1億6,000万円	2億7,100万円	4億1,100万円	8億4,200万円
合計実績額	1億6,400万円	2億8,400万円	4億4,700万円	8億9,500万円
計画達成率(%)	102.5	97.6	116.1	107.1

計画全体の78.9%実施

平成17年度から19年度に町が行った行政改革推進実施計画についての取り組み状況は、次のとおりです。

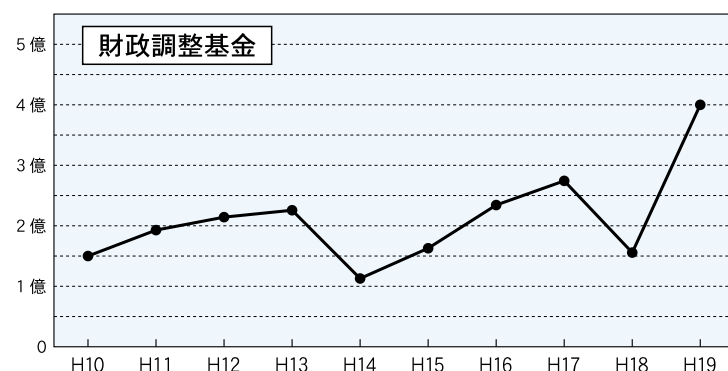
行政改革推進実施計画	項目数 ①	内 訳				実施率% (注)
		実施 ②	一部実施 ③	準備・ 検討中	未着手 未達成	
19年度までに実施すべきとした項目	83	60	11	9	3	78.9
20年度中に実施すべきとした項目	8	1				
21年度中に実施すべきとした項目	2					
推進項目の合計	93					

(注) 実施率は、「実施率=(②+③÷2)÷①」で計算しました。

職員数の適正化など、大綱に掲げる目標を着実に推進し、改革の財政効果についてもおおむね想定した効果を上げていますが、今後もより一層改革を推進します。

財政調整基金の現在高は4億円台に

第4次行政改革の着実な実施などにより、町の貯金である「基金」の現在高は大きく改善しています。平成16年度末の6億5,100万円から19年度末には8億7,100万円までになっています。特に災害等の緊急の財政需要などに備える「財政調整基金」は、14年度には1億1,200万円まで減少していましたが、18年度の大震災による取り崩しもあったものの、19年度末で4億100万円まで積み立てすることができました。残高が4億円を超えたのは、平成5年以来14年振りとなっています。



「ずようなこ」

30

デイビット・マナーリオ
(指導主事助手・30歳)



アメリカの生徒なら

アメリカの小・中・高等学校は、基本的に9月から新学期が始まります。一学期は12月までで、二学期は1月に始まり5月下旬に終わります。それから3か月の夏休みがあります。

3か月の夏休みと聞くとびっくりすると思いますが、葛巻の夏休みがたった3週間と聞いたとき、同じように僕も驚きました。しかも夏休み中、日本の生徒は部活動のため学校へ行っています。僕にとって休みは、いつもいる場所や仕事から離れて気分転換をするところです。夏休みにも学校へ行く生徒たちは飽きないのでしょうか。

アメリカでは、小学校から大学まで、70点以上の成績を保たなければ落第です。同じ学年をもう一度やり直します。また、卒業もできません。しかし、成績が悪かったり単位を落とした場合、夏休み中の特別授業で成績が上がると、落とした単位を取り直すことができます。ときもあります。

日本では、落第がないことを知りびっくりしました。落第させないことには二つの欠点があると思います。まず一つは、刺激がありません。どんなにテストの点数が低くても進級や卒業ができるので頑張らないと思います。そしてもう一つは、必ず進級できるから努力することが身に付きません。大げさな言い方かもしれませんが、中学校でこのようなことを目にしたことがあります。

この文章は、デイビットさんが日本語で書いています。

マイマイガの防除にご協力を

昨年の夏町内で異常発生したマイマイガは、本年5月上旬から一斉に孵化し、現在は蛾になって町全域に飛来し卵塊を作り始めています。

町は5月と7月初めの2回薬剤を配布し、自治会ごとに薬剤散布が行われました。7月中旬には防除についてのチラシを各家庭に配布して、情報を提供しています。また、マイマイガは町中心部の街路灯に多く飛来するため7月28日から8月10日を目途に消灯しています。

マイマイガは、県内でも昭和35年に旧衣川村で、昭和50年に岩手町と旧玉山村で発生した例があります。最近では、平成14年に広島県で大発生しましたが翌年にはすでに終息方向にありました。過去の例からほとんどの発生地で野鳥や昆虫などの天敵の働きや流行病などで2～3年で終息しています。



毎日、自宅周辺の毛虫をバケツに採取して処分する町民

今回のような大発生においては決定的な防除方法がなく、終息を待つしかない状況です。皆さんができる範囲で防除のご協力をお願いします。

《防除その1》さなぎや卵塊は採取、かき取るなどして処分しましょう。

《防除その2》殺虫剤で処理できるものは、薬剤基準を守って周囲の理解を得ながら処理しましょう。

《防除その3》蛾は光に集まりやすい習性があるので、不用な照明はつけないようにしましょう。